

閉会挨拶（2023年6月28日）

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言申し上げます。

まず、来賓挨拶をしていただいた藤井国土交通事務次官、基調講演をしていただいた政策研究大学院大学の森地名誉教授、パネルディスカッションにご登壇いただいた東京大学の加藤教授と福田教授、室蘭工業大学の有村教授、東北大学の奥村教授、呉高専の神田教授、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

本日のシンポジウムは、当研究所で一昨年度から実施してまいりました「2050年の日本を支える公共交通のあり方に関する調査研究」の成果報告の場でありました。検討委員会座長として提言を取りまとめていただいた森地先生、二つの小委員会座長として、本日報告を行った新田研究員、嶋田研究員を始めとする若手研究員と喧々諤々の議論をしていただいた加藤先生、福田先生に重ねて御礼を申し上げたいと思います。

基調講演で森地先生がご指摘になったように、この調査研究の提言は、「コロナ禍後の政策の大転換期に当たって、長期的政策展開のための基本認識を提示したもの」であります。当研究所といたしましては、本調査研究の提言をさらに

ブレイクダウンして、この国の公共交通のあり方について、今後とも引き続き調査研究を精力的に進めるとともに、本日のようなシンポジウムやセミナーの場を活用して、皆様と一緒に考察を深めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ここで皆様にご報告があります。

2016年6月から7年の長きにわたり当研究所の所長を務めてこられました山内弘隆先生が、6月26日をもって退任され、後任の所長に屋井鉄雄先生が就任されました。

山内先生には、引き続き、研究アドバイザーとしてご指導いただくこととなりますが、山内先生のこれまでの当研究所への多大なるご貢献に対しまして、この場をお借りして、心より感謝申し上げたいと思います。

また、今後は、屋井新所長のもと、「学術研究と実務的要請の橋渡し」という当研究所設立の理念に立脚し、ますます「世の中の役に立つ」調査研究や政策提言を行っていく所存でありますので、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。また、アンケートへのご協力も、よろしくお願いいたします。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。